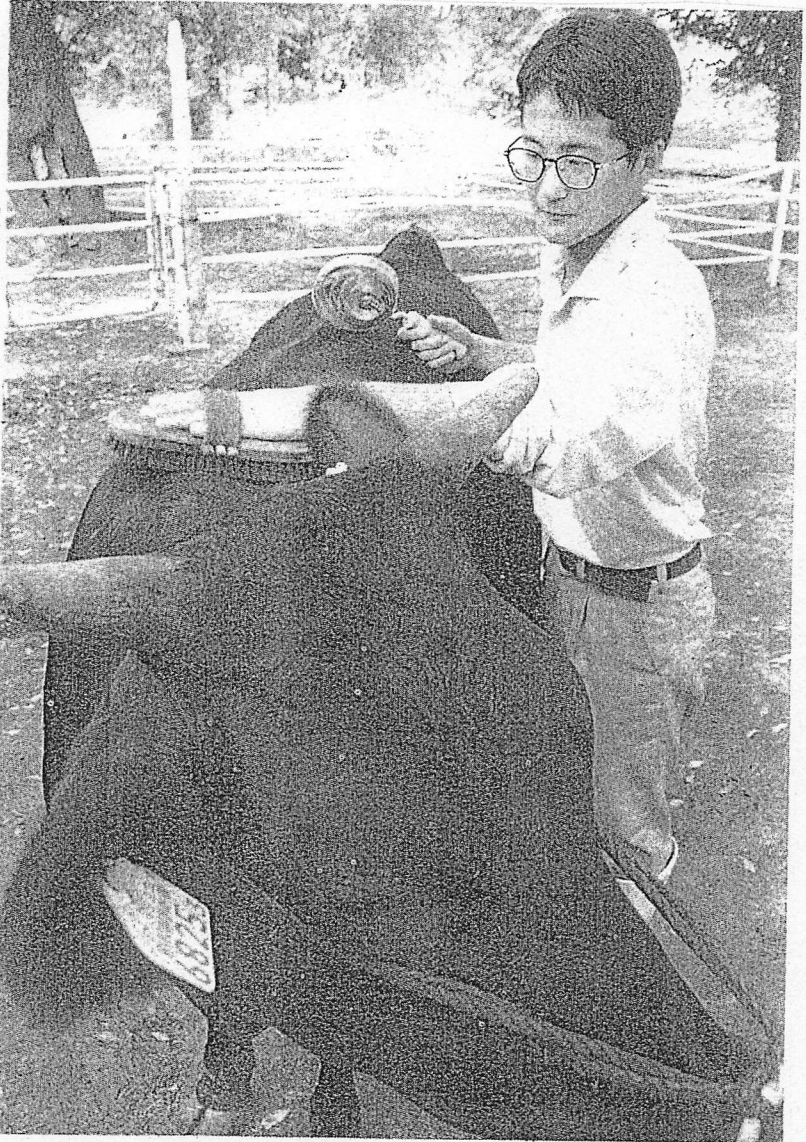


校門坂

～ 輝く薩摩中央 ～

平成30年 8月29日 (水) 日本農業新聞

日本農業新聞に生物生産科3年生田口さんの「平成生まれのヒーロー」が掲載されたので紹介します。



汗だくで丁寧に牛のブラッシングをする田口さん（鹿児島県さつま町で）

平成生まれの
ヒーロー

鹿児島県立薩摩中央高 田口健太郎さん(17)

夏休みも世話に大汗

鹿児島県立薩摩中央高校生物生産科3年の田口健太郎さん(17)は、夏休みも学校に向き汗だくで牛の世話に励む。畜産を職業として意識したのは小学5年の頃。子牛の生産を営む祖父母の影響で興味を持った。高齢で畜産をやめた祖父母の代わりに再び牛を飼い、見せてあげたいと意気込む。

授業以外の時間も畜舎で過ごすことが多い。「育てた牛がきれいになると気持ちがいい。牛と接すると気持ち落ち着く」と話し、得意のブラッシングをした。

田口さんは県主催の「農業高校生海外研修」のメンバー。11月にはオーストラリアのファームステイなどで学ぶ。「海外と日本の畜産経営の違いを知りたい。農業大学校に進学し、人工授精師の資格も取りたい」と意欲旺盛だ。
(鹿児島・北さつま市 椋山政昭特別通信員)